

## 「鑄造分野における IoT と AI の現状と活用事例」

主催団体名：(公社)日本鑄造工学会 IoT 研究部会

協賛：(一社)日本鑄造協会)、(一財)素形材センター

開催日時：2022年2月22日(火)10:00~17:00

場所 オンライン(Zoom)

参加費 無料

定員 200名

申込方法：日本鑄造工学会のホームページ (<https://jfs.or.jp>)

「シンポジウム申し込みフォーム」からお申し込みください(トップページにバナー有)

申し込み締め切り：2022年1月31日(月)

問い合わせ；(株)木村鑄造所の姜(Kang)幹事；

(Tel)090-5854-0389, (E-mail)[kang@kimuragr.co.jp](mailto:kang@kimuragr.co.jp)

内容：日本鑄造工学会では相変態を伴う加工技術である鑄造特有の暗黙知の課題を解決するために、IoT 研究部会を2018年4月に立ち上げました。「鑄造工場のIoT化とAIの利用」をテーマに4年間活動を行ってきました。その結果、鑄造分野でのAIやIoTの導入が徐々に進んでまいりました。その4年間の成果をまとめ、成果をまとめ、「鑄造分野におけるIoTとAIの現状と活用事例」というテーマでシンポジウムを開催いたします。鑄造工学会の会員は無料となります。会員でない方は、鑄造工学会の会員になることをお勧めします。

### [プログラム]

|             |  |
|-------------|--|
| 10:00-10:10 | 開会の挨拶  |
| 10:10-11:00 | 「ものづくりにおけるIoTの展開」 (甲南大学)長坂悦敬<br>10分休憩  |
| 11:10-12:00 | 「鑄造工場のIoT化と鑄造技術へのAIの利用」(株)木村鑄造所)菅野利猛、<br>昼食  |
| 13:00-13:30 | 「黒鉛球処理後の取鍋及び製品の残留Mg量のニューラルネットワーク<br>による予測」 (株)木村鑄造所)岩見裕貴                                     |
| 13:30-14:00 | 「ディープラーニングによる鑄鉄溶湯表面のスラグと除滓剤の判別」<br>10分休憩 (島根大学)白井匡人  |
| 14:10-14:40 | 「AIを用いたフィルター品質の打音検品」(株)木村鑄造所)平本雄一  |
| 14:40-15:10 | 「法人向けコミュニケーションツールにおける身近なIoT」<br>10分休憩 (株)ネオジャパン)小宮勇貴、  |
| 15:20-15:50 | 「改善の為のIoTデータの活用とDX(デジタル)人材の育成」<br>(ウイングアーク1st(株))荏原光誠  |
| 15:50-16:20 | 「IoT及びAI技術導入による鑄鉄のMgワイヤー処理における溶湯飛散抑制<br>最適化」<br>(東洋電化工業(株) 横澤和憲、山本展也、甲斐登起雄)<br>(株)木村鑄造所 菅野利猛 |
| 16:20-16:50 | 「IoT活用におけるシステム開発外注時のコツ-鑄造ラインシステム開発<br>事例を通して」(福島コンピューターシステム(株))陰山真由美                         |
| 16:50-17:00 | 閉会の挨拶  |